

平成 30 年度

地域課題解決型学習プログラム指導者養成研修② 生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅱ② 実施報告

実施日：平成 30 年 9 月 13 日（木）

○ 講話・演習「ファシリテーションの技術を学ぼう」

宇都宮大学地域デザイン科学部 准教授 石井 大一郎 氏

石井先生は、まちづくり論や NPO 論、地域プロジェクト演習などの科目を担当されています。

講話・演習では、はじめにファシリテーションについて、様々な背景をもとにお話いただきました。バリアフリーデザイン思想や経済成長と対話の変化、地域の視点など、気付きの多い内容でした。

続いて、「上手なファシリテーター」とはどのような人なのか、班で協議しました。協議内容をファシリテーショングラフィックに表すことにより、「考えの可視化」「発言の平等な扱い」「協議のプロセスを残す」といった「納得感を高める視える化」に受講者は努めていました。「ファシリテーショングラフィックにおいて大切なのは、発表用のきれいなポスターを作るのではなく、グループにとってポイントが分かるように表記すること」、との先生の言葉のとおり、各班とも自分たちが協議した内容をふりかえりながら、ファシリテーターについての考えを深めることができましたようです。

後半のワーク「こんなときどうする。ファシリテーション Q&A」では、想定される様々なケースにどのように対応するか、班で対応策を考えました。「中立性を保つには?」「話し過ぎる人にはどうするか?」といった場面での対応を班で協議し、その後会場全体でも協議内容を共有し合いました。提示されたケースに実際に直面した経験のある受講者もあり、体験談をもとに対処策を検討した班もあったようです。

お昼を挟んでの講話・演習でしたが、受講者からは「いろいろな話が聞けて良かった。」「もっと演習をして、ファシリテーションについての知識・理解を深めたかった。」といった意見が聞かれました。



【受講者の感想から】

- ・ファシリテーターとしての具体的な技術を学べたのでよかったです。
- ・「こんなときどうする Q & A」が実践的でためになりました。



研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 E-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp

